
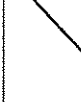
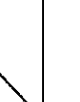

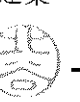


令和3年度		委託設計書		課長	担当課長	係長	担当		
令和3年10月1日 設計							建築 電気 機械		
設計コード		—							— —
設計課	営繕課	主管課	学校管理課						
1. 委託名称		明石市立衣川中学校北校舎耐力度調査等業務委託							
2. 委託内容	・調査	◎建物、その他調査 ◎耐力度調査							
	・耐震診断								
	・評価								
	・耐震補強計画								
	・耐震補強設計								
	・実施設計								
	・積算								
	・その他	◎アスベスト調査							
		※ 委託該当項目は、◎印の入ったものを適用する。							
3. 委託期限		契約の翌日より、令和4年3月10日までとする。							
4. 支払条件		委託業務完了後 一括支払い。							
5. 委託概要		本業務は、明石市立衣川中学校の北校舎(教室棟)の耐力度調査等を実施するものである。							
6. 建物概要		<ul style="list-style-type: none"> ・施設名称 明石市立衣川中学校 ・所在地 明石市南王子町7-1 ・委託建物 <ul style="list-style-type: none"> 1. ⑬-1 教室棟 (RC造4階建 保有面積 1,268 m² 昭和44年8月築) 2. ⑬-2 教室特教棟 (RC造4階建 保有面積 700 m² 昭和49年3月築) 3. ⑬-3 特別普通教室棟 (RC造4階建 保有面積 1,256 m² 昭和49年5月築) 							
		意匠図(平面図・立面図・断面図・平面詳細図・断面詳細図)有、構造図有、構造計算書無							
		なお、⑬-2、3棟については、建築年が同一で、一体の構造として建てられている(エキパソソジョイントで区分されていない)為、一棟として扱い、報告書作成を行うこと。							

委託内訳明細書		課長	担当課長	係長	担当
設計年度	令和3年度				
令和3年10月1日 設計					
委託名称	明石市立衣川中学校北校舎耐力度調査等業務委託				
設計額(税込)			委託額(税抜)		
名称	数量	単位	単価		金額
1. 耐力度調査					
既存資料照合	1	式			
コンクリートコア採取 (圧縮強度・中性化試験)	8	箇所			
柱・梁等のはつり調査 (コンクリートの中性化、 鉄筋のかぶり厚さ・腐食度)	12	箇所			
不同沈下量測定	1	式			
躯体の状態(ひび割れ等)	1	式			
各調査・検査結果報告書作成	1	式			
耐力度調査報告書作成	1	式			
小計					
2. アスベスト調査					
定性・定量分析(報告書共)	10	箇所			
※外壁塗材は、仕上材と下地調 整材の2検体で1箇所 ※各棟(外壁・軒裏・床・天井)					
小計					
3. 諸経費					
	1	式			
合計(委託額)					
消費税相当額	10	%			
総額(設計額)					

業務委託特記仕様書

1. 委託業務名 明石市立衣川中学校北校舎耐力度調査等業務委託

2. 調査場所 明石市南王子町7-1

3. 建物概要

棟番号	建物用途	構造	階数	保有面積(m ²)	建築年次	経過年数	備考
⑬-1	教室棟	RC	4	1,268	S44.8	52	
⑬-2	教室特教棟			700	S49.3	47	
⑬-3	特別普通教室棟			1,256	S49.5	47	

※平成18年度耐震診断改修計画等評価取得済（報告書あり）

※平成19年度耐震改修工事済（図面データあり）

4. 業務内容

A 耐力度調査

本耐力度調査は、平成30年4月2日29文化施第422号「公立学校建物の耐力度調査実施要領」及び「公立学校建物の耐力度調査説明書」（以下「基準図書」という。）に基づき調査するものとする。なお、耐震診断済みである建物は当時の診断結果を用いて測定の一部を省略できる項目があり、内容を精査した上で使用できるものとする。

(a) 本市が保有する資料と建物との照合・確認。

(b) 基準図書に指定されている箇所について下記の調査・試験を行う。

① コンクリート圧縮強度

指定場所から指定本数のコアを採取し、圧縮強度試験（公共試験場）を行う。

② コンクリートの中性化深さ及び鉄筋のかぶり厚さ

指定場所のはつり面及び①で採取したコアに、フェノールフタレイン1%アルコール溶液を噴霧し、中性化深さを測定する。また、そのはつり面について鉄筋かぶり厚さを測定する。

③ 鉄筋腐食度

上記はつり面について鉄筋の腐食状態を調べる。

④ 不同沈下量

各階の張間・桁行両方向について沈下量測定を行う。

⑤ 躯体の状態

基準図書に指定されている箇所について、構造ひび割れの測定を行う。

※本建物は、1棟であるが、施工時期が異なる2棟扱いとして、調査票等をまとめること。

尚、⑬-2、3棟については、建築年が同一で、一体の構造として建てられている（エキパシジョンジョイントで区分されていない）為、一棟として扱い、報告書作成を行うこと。

B アスベスト調査

校舎の外壁の仕上げ及び下地、内装仕上げ材（天井・床）の定性、定量分析を行うもの。

5. 提出書類

- (a) 耐力度調査報告書・・・・・・・・各3部（A4 ファイル綴じ）及びデータ耐力度(簡略)調査票、耐力度(簡略)調査チェックリスト、施設台帳、各図面
- (b) 建物全景及び現場作業状況写真・・・各3部（A4 ファイル綴じ）及びデータ
- (c) 各調査・検査結果報告書・・・・・・・・各3部（A4 ファイル綴じ）及びデータ

6. 委託期限 令和4年3月10日

7. 注意事項

- (a) 現地調査は、市担当者及び施設管理責任者と日時を調整の上行う。
- (b) 現地調査は、受託者の責任者の立会・指導のもと行う。
- (c) 業務について質疑が生じた場合は、速やかに市担当者と協議する。
- (d) 受託者は、業務遂行において、市及び学校関係者との間で行われた打合わせ事項については受託者が全て記録し、終了後、速やかに記録したものを市に提出すること
- (e) 受託者は、測定終了後、直ちにはつり箇所全体をテーピング等で保護し、後日容易に取り外し、再測定可能な状態にしておくこと。
- (f) 調査箇所の復旧は原則として現状復旧とするが、復旧方法の詳細、時期については市担当者と協議の上決定する。
- (g) 受託者は、業務完了後も市の質疑に対して誠意を持って対応すること。
- (h) 受託者は、業務完了後も現地調査を再度行う必要がある場合は立会うこと。
- (i) 受託者は、本調査で知り得た事項、関連資料を当該調査に関する者以外に漏らしてはならない。

8. 資料の貸与

本市が保有する資料（設計図書、耐震診断報告書、施設台帳等）は、資料借用書の作成をもって受託者に無償にて貸借する。ただし、万一資料に損傷を与えた場合には、受託者が責任を持って修復のこと。委託業務完了後は、貸借資料の内容を確認し、すみやかに返却のこと。